

# KISC

創業や経営革新に  
取り組むあなたを応援します。

## CONTENTS

- 02 地域力連携拠点事業スタート!!
- 03 女性起業家の声：女性の起業は「自己実現型起業」
- 04 特集 応援します！中小企業の経営革新！
- 06 マーケティングの現場から～チェック・ポイントと処方箋：「反応ゼロ」が意味すること。
- 07 税務お役立ち情報：ふるさと納税って何？
- 08 鹿児島県管理団地の紹介（鹿児島県産業立地課）
- 10 IT活用戦略：IT戦略策定・IT活用モデル
- 12 産学官連携<sup>56</sup> 水準機能付定規
- 13 受発注情報
- 14 **Information**：中小企業テクノフェアIN九州2008のご案内 等
- 16 上野原ビジネスプラザ・インキュベータールームのご案内  
「かごしま企業情報」への掲載のご案内  
センターホームページ「KISCネット21」のご案内

## 6月号

June 2008

(財) かごしま産業支援センター  
URL <http://www.kric.or.jp/>

# 地域力連携拠点事業スタート!!

財団法人かごしま産業支援センターは、他の中小企業支援機関等とのつながりを更に強化し、経営力向上や新事業展開、創業支援など中小企業が直面する課題に対して、ワンストップできめ細かな支援を行う「地域力連携拠点」として、経済産業省から、平成20年5月20日に選定されました。

これを受け平成20年5月30日には、財団法人かごしま産業支援センターにおいて開所式を開催し、地域力連携拠点としての業務を開始しました。

センター内には、浜田応援コーディネーターほか2名による「地域力連携拠点班」を設置し、皆様からの御相談に対応します。お気軽に御相談ください。

◆問い合わせ先◆ TEL 099-219-1529

e-mail:chiikiriyoku@po.kric.or.jp



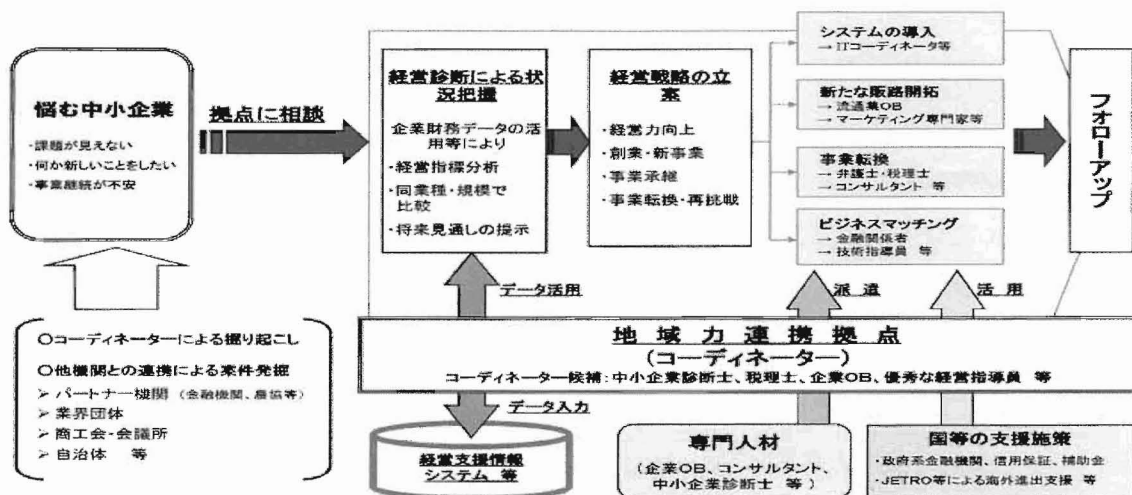
地域力連携拠点開所式の様子(写真左:吉留理事長 右:山崎九州経済産業局産業部長)

## 特徴

- 1 地域における支援機関等の力を総動員したきめの細かい支援を行います。
- 2 「悩む中小企業」の課題をワンストップで支援します。
- 3 ITを積極的に活用することにより、経営診断を正確・迅速に行うことができます。
- 4 支援のプロフェッショナルのコーディネーターが、支援を求める中小企業と最適な専門家をピンポイントでつなげます。
- 5 様々な支援策等を最大限活用して、成長に至るまでの一貫した支援を行います。

具体的には、パートナー機関と密接に連携しながら①相談、②専門家派遣、③情報提供、④調査・研究、⑤マッチング等を行い、小規模企業等の前向きな取組みを支援します。

## 地域力連携拠点の支援の流れ



◎ 財団法人かごしま産業支援センターパートナー機関（20機関）

- ① 県工業技術センター
- ② (株)鹿児島TLO
- ③ 鹿児島大学産学官連携推進機構
- ④ 鹿児島工業高等専門学校
- ⑤ 県農業開発総合センター
- ⑥ 県農産物加工研究指導センター
- ⑦ 県水産技術開発センター
- ⑧ (社)鹿児島県工業倶楽部
- ⑨ (社)鹿児島県特産品協会
- ⑩ (社)鹿児島県観光連盟
- ⑪ (社)鹿児島県貿易協会
- ⑫ 鹿児島県信用保証協会
- ⑬ (株)鹿児島銀行
- ⑭ (株)南日本銀行
- ⑮ 国民生活金融公庫
- ⑯ 鹿児島県中小企業再生支援協議会
- ⑰ NPO法人ネイチャリング・プロジェクト
- ⑱ 鹿児島県知的所有権センター
- ⑲ (株)鹿児島頭脳センター
- ⑳ NPO法人ITかごしま応援隊

## 女性起業家の声

鹿児島県の女性起業家の方々に、起業家としての思いや抱負などを女性の視点でお話いただくコーナーです。

昔は、女性が起業をするなど夢物語的な所がありました。今は、起業家を目指す女性たちが増えてきています。東京や関西など都市部で開催される女性向けの創業セミナーは、大盛況で定員オーバーになっています。女性が開業のために国民金融公庫に融資を依頼した件数もここ7年間で約4.2倍に増え、創業の準備をしている女性たちも約18万人いると言われています。そして、その**女性起業家の波が、今鹿児島県にも押し寄せています。**

私自身も平成11年鹿児島県で初めて開催された女性起業家セミナーの卒業生です。そして、その卒業生の有志で立ち上げた、「さつま女性起業家塾」の発起メンバーでもあります。今年で10年目に入りますが、ここから多くの女性起業家が巣立っていきました。

**「今、何故、女性たちが、起業を目指すのでしょうか？」**

それは、今の女性たちの働く環境に原因があると思います。

多くの女性たちは、「自分の好きな事を仕事にして、イキイキと働きたい」「家庭やプライベートも大切にしながら、一人の女性としても充実した人生を送りたい。」という願望を持っています。しかし、現実には厳しく、働く現場で女性たちのやる気や才能が十分に活かされているとは言えません。

働く女性たちの多くは、仕事のやりがいや将来に不満を抱えています。また、結婚で一度家庭に入った女性たちの再就職は困難で、納得のいく仕事に就くことは至難の技です。

そんな中、「会社に期待するのではなく、やりたい事は自分で始めた方が早い」と気付いた女性たちが働き方の一つの選択技として起業を選んでいるようです。

他に、女性の起業を後押しした要因として、女性の購買力の高まりと、消費のリードを女性たちが担うようになったこともあります。仕事や生活の中で、「こんなサービスがあれば助かるのに」「あんな商品があれば便利なのに」と、女性たちが感じた声を形にできるのは、同じ生活感覚を持つ女性なのです。そして、そのような女性たちのニーズに応える形で事業化した女性たちが、成功を収めているようです。

女性の起業の場合、会社を起こして儲けたいというより、**自分の夢を叶えたいという自己実現型の起業**が多いです。そして、私は、そんな女性たちを支援する

## 女性の起業は「自己実現型起業」

ため、平成16年8月に(有)リライアンスを立ち上げました。そして、創業塾で、多くの起業を目指す女性たちと関わり、相談を受けてきました。

女性の起業は、介護・育児支援などのサービス業やレストラン・食品加工業などの食品業が多いです。そして、大きい志を持つというよりも「自分の特技を活かしたい」「社会に貢献したい」という社会起業家的発想のものが多いようです。

女性起業家の場合、とてつもなく事業を大きくしたいという野心家は少なく、経済的に収支が合って、事業がまわれば、それで満足だという人が大半のようです。これも女性特有の堅実さの表われだと思います。

収入もさることながら、むしろ、生きがいや自己実現を重視する姿勢が強く見受けられます。

私は、女性の起業は、それで良いと思っています。

女性には、結婚・出産・子育て・親の介護が付きまっています。事業を継続していくには、家庭と仕事のバランスをとった無理のない形での起業が一番です。起業したせいで家庭が崩壊してしまえば、起業した意味がありません。**家庭も仕事も大切にしながら、女性としての夢も叶えて輝く、これが女性たちが目指す理想の起業の姿だ**と思っています。何も男性と比べて、無理する必要はありません。女性独自の起業の形を確立していけばいいのです。そして、そのお手伝いをするのが、私の仕事でもあります。

最後に、第2創業(経営革新)を考えておられる経営者の方々に提案です。会社を発展させるためにも**女性の視点での商品開発・サービスにチャレンジしてみませんか？**優秀な女性社員たちの活かし方をアドバイスさせていただきます。「**きっと志高き・熱き鹿児島県の女性たちが篤姫のように会社の未来を切り開いてくれることでしょう！**」

### ☆筆者紹介☆

安永 せつ子 (Setsuko YASUNAGA)

(有)リライアンス代表取締役  
霧島市生まれ

創業支援・経営革新  
エキスパートアドバイザー



# 応援します！中小企業の経営革新！

## ～ 経営者のための経営革新支援制度活用術 ～

- 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取り組みを支援しています。
- このシリーズでは、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介します。

株式会社  
シーサイドホテル屋久島

【事例紹介】  
『神話の里 霧島の深緑の中に  
「大人の隠れ家」をオープン』



代表取締役 後藤 慎 氏

### < 企業概要 >

所在地：熊毛郡屋久島町宮之浦1208-9  
 設立：平成12年2月  
 資本金：20,000千円  
 従業員数：58名（パート含む）  
 業種：旅館・ホテル  
 TEL：0997-42-0175  
 URL：[http:// www.ssh-yakushima.co.jp/](http://www.ssh-yakushima.co.jp/)  
 計画承認：平成19年3月7日

### 観光ホテル・旅館を取り巻く環境変化と時代のニーズに対応

#### ○新事業にチャレンジしようとしたきっかけは

当社は創業以来、シーサイドホテル屋久島の運営を行っています。しかし、旅行形態が団体から小グループ・個人旅行へと移行していると言われて久しく、また、お客様は「本物の価値」や「癒し」を求める傾向にあります。当ホテルでは、これらのニーズに十二分に応えることは難しいと考えたことから、お客様ニーズの本質に答えられるサービスを一から作り上げたいと思いました。

そこで、これまで世界遺産の屋久島にて国内外の多くのお客様を受け入れてきたノウハウを活かしながら、少人数のお客様を完全プライベートな空間の中で、きめ細やかなサービスでもてなす「離れの宿」を鹿児島島の代表的な温泉地であり、また、私の出身地でもある霧島に建設することにしました。

#### ○新事業の概要

- ・シーサイドホテル屋久島の別館として個人向け「離れの宿」を霧島に建設
- ・霧島の大自然の中で、お客様に悠久の時間を過ごしていただくための、きめ細やかなサービスの提供
- ・シーサイドホテル屋久島と連携した取り組み

### 経営革新計画の承認が新事業への足掛かりに

#### ○経営革新支援制度を利用したきっかけと感想を聞かせてください

新事業について金融機関に相談に行ったところ、経営革新支援制度の紹介を受け、計画の策定に取り組みました。

承認の申請にあたっては、不安もありましたが、県の担当者からアドバイスを受けることで新事業に向けた計画策定をスムーズに行うことができました。承認を受けたことによって、金融機関からの貸付利率が優遇されるメリットもあり、平成20年5月2日に「きりしま 悠久の宿 一心」をオープンさせることができました。

また、経営革新計画の承認企業として県のホームページに掲載されたことで、宣伝効果もあったように感じています。



<きりしま 悠久の宿 一心>

## 特徴を出したサービス提供により地域の活性化を

○オープンしたばかりの「きりしま 悠久の宿 一心」について教えてください

「霧島の大自然の中で、悠久の時間を過ごしていただき、お客様自身のペースでリフレッシュしてもらおう」を基本コンセプトに完全個室の離れ宿を7棟用意しています。

「食」については、鹿児島和牛、黒豚、地鶏だけでなく、野菜も自家農園で栽培した無農薬野菜を使用するなど、地産地消に徹底してこだわり、素材及びその色を活かした色鮮やかな創作料理を提供しています。また、鉄分やカルシウムを多く含んだ泉質の露天風呂が各棟ごとに設置されているのも特徴です。

なお、当社は「驚きと感動の提供」をモットーとしており、基本的な接客以外の部分については、あえて細かいマニュアルは作らず、個々のお客様のニーズに合わせたサービスの提供を心がけています。オープンしたばかりでまだまだ不十分な面もありますが、従業員とともに切磋琢磨しながらお客様に心から感動していただけるサービスを目指します。



<部屋の様子>

○今後の事業展開について教えてください

自然豊かな霧島という地で、豊富な観光資源を活かしながら地域と一体となった街づくりに貢献していくことです。お客様のニーズも変化している現在、価格による差別化ではなく、特徴を出したサービスの先駆けとなることで、霧島全体を活性化していくことができると考えています。

また、霧島だけではなく、既存のシーサイドホテル屋久島ともタイアップを図り、両地の地域特性を活用した事業を展開し、鹿児島の観光業の発展にも寄与していきたいと考えています。

今後とも、「一心」＝「おもてなしの心」を大切に、工夫したサービスを提供してまいります。



<こだわりの創作料理>



<離れごとに設置されている露天風呂>

「きりしま 悠久の宿 一心」問い合わせ先  
所在地：霧島市牧園町高千穂3590-34  
TEL：0995-64-4100  
URL：http://www.issin-kirishima.jp/

### ■経営革新支援制度のご案内■

中小企業新事業活動促進法に基づき、中小企業者（個人事業者、組合等を含む、業種不問）が新たな事業活動の内容や経営目標等を盛り込んだ3～5年の「経営革新計画」を作成し、県知事の承認を受けると、各種支援策を活用できます。

#### 【経営革新計画の承認基準】

- ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取り組みであること。
- ②付加価値額と経常利益の数値目標（直近決算の数値に対する目標伸び率）が次のとおりであること。

経営指標	計画年数	3年	4年	5年
付加価値額(営業利益+人件費+減価償却費)		9%以上	12%以上	15%以上
経常利益(営業利益-営業外費用)		3%以上	4%以上	5%以上

#### 【支援策の内容】

- ①政府系金融機関による低利融資
- ②税制措置
- ③信用保証の特例
- ④特許関係料金の減免
- ⑤補助金
- ⑥県制度融資資金による融資(ベンチャー企業支援資金) など

#### 【問い合わせ先】 県庁経営金融課 経営支援係

TEL：099-286-2944(直通), FAX：099-286-5576, E-mail：shien@pref.kagoshima.lg.jp

STUDIO K. 代表 中島 秋津子

【Email】 info@studiok.biz

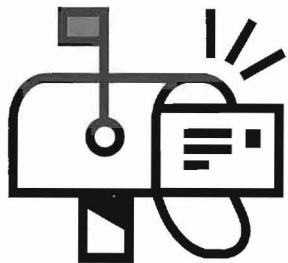
【Blog】 http://www.studiok.biz/

## 「反応ゼロ」が意味すること。

### ◆「ご意見を聞かせてください」

店頭や商品パッケージ内、書籍や雑誌などで見かけるお客様はがき。「商品・サービスについてご意見をお聞かせください」と書いてあるあのはがきです。

それを十枚くらい集めてきて、机の上に並べてみてください。その商品・お店が何を重視しているか、何を課題と感じているか、一目瞭然です。また参考にした表現なんかも見つかります。同時に形式的にやっているだけ…という姿勢の会社もわかってしまいますね。(同業他社がやっているから、とりあえずうちの会社も…)なんていう声も一緒に聞こえてきます。



### ◆お客様が逃げているサイン

このはがき、お客様の回答内容と同時に、何枚返信があったかという数値も大切なマーケティング・データです。

たとえば、返信枚数が増えたときは、

- ① お店・商品とお客様との接点が増加、多様化、定着しているという可能性。  
⇒プロモーション(販売促進)が順調
- ② 自分の声・気持ちを伝えたいという、会社・商品への信頼・愛着が育っている可能性。  
⇒ブランド育成が進んでいる

という状況だと考えられます。もちろん商品・サービスのトラブルが発生したときなどは別の話ですが、たとえ否定的なコメントが書かれていても、少なからず期待する気持ちがあるからこそ。大切なサインです。

逆に、はがきに問わずご意見の数が減っているとしたら…。お客様が逃げはじめているのかもしれない。

また、私が以前、マーケティング担当だった時は、お客様はがきと、お客さまセンターへ電話・メールで寄せられるご意見・問合せすべてに目を通していました。年間十数万件あり、最初は量に圧倒されましたが、FAQ(よくある質問)として回答データを整備し利便性を高めたり、内容に応じて事業への活用方法を考えていくうちに(あっ!)と気づくことも多くなりました。

### ◆まず、窓口を設けましょう。

お客様から自発的なご意見を頂くには、はがき・電話など“窓口”の確保が第一歩です。「窓口がいつもあるから」言いたいことが言えるのです。場合によってはお叱りやクレームもありますが、それに耳を閉ざしてはマーケティングのしようがありません。

続いて、担当者・集計方法・タイミング・共有先など「寄せられた声の活用方法」を決めてください。お聞きしてみると、クレームがないかどうか、ざっと目を通して終わりということが多いようですが、それでは窓口を設けた意味がありません。活用の事例を挙げてみます。

「反応ゼロ」について考えてみましょう。

#### “商品の最大の売り”に何のコメントも寄せられない

その“売り”はお客様にとってメリットではなかったのかもしれない。お客様がその商品を買う理由は別にあるのでは？ 視線がずれているのでは？

売り方を早急に見直す必要があるようです。

「反応ゼロ」をマーケティングに活用できるのも、窓口があるからこそ。無ければ見逃してしまいます。

最後に、お叱りには真摯に対応するのはもちろん、「この中に新しいヒントがあるはずだ」という姿勢で、お客様の声に接することが事業に活用していくための最大のポイントです。

#### 【今月のチェック・ポイント】

お客様からはがきや電話、メールで自発的なご意見が寄せられる窓口が有りますか？  
もしも無ければ。



#### 【マーケティングの処方箋】

- ①何か一つ、窓口を設けてみてください。
- ②問合せ、お叱りにすぐに対応するのはもちろん、
- ③件数と内容を集計し、時系列での変化もチェック。
- ④ご意見の活用方法は積極的に検討しましょう。
- ⑤「新しいヒントがあるはずだ」という姿勢で！

#### ☆筆者紹介☆

中島 秋津子

(Atsuko NAKASHIMA)

分析レポート、事業プランニング、社員研修・講義など、マーケティングの観点から事業サポート・サービスを提供するSTUDIO K.(スタジオK)代表。



# 税務お役立ち情報

税理士・中小企業診断士

岩元 耕 児

TEL : 099-260-0100

FAX : 099-260-0113

E-mail : tia@tkcnf.or.jp

## ふるさと納税って何？

### 1 ふるさと納税Q&A

【社 長】 なかなか決まらなかった税制改正もこの4月30日に衆議院の再可決でようやく決まりましたね。以前から、新聞やテレビで『ふるさと納税』という言葉が度々聞くのですが、これは納税方法が変わるって言うことなのでしょう吗？

【税理士】 今回の『ふるさと納税』創設は、「ふるさと」に対して貢献したい、応援したいという納税者の思いを実現させるという観点からの支援策です。

覚えていらっしゃるでしょうか？ 昨年、所得税と住民税の税率が変わりました。合計は変わらないのですが、所得税の税率が下がり、住民税の税率が上がりました。国から地方への税源移譲という大きな流れです。現在の住民税では、人口の多い大都市圏の地方自治体が有利になるのです。

【社 長】 思い出しました。昨年、ある知事が当初はふるさと納税に対して反対意見を表明されていましたね。

ふるさと納税はどういうものなのですか？

【税理士】 今後、納税者が「ふるさと」の都道府県や市町村に寄附を行った場合、住所地の市町村が寄附金に該当する額を本来納付すべき税額から控除して住民税額の計算をするというものです。法律上は、寄附金税制の1つと位置づけられています。

【社 長】 給与収入が年収700万円の夫婦と子ども2人の標準的世帯の場合、住民税額は30万円で3万5千円の寄附をすると、どうなりますか？所得税の税率は10%とします。

【税理士】 所得税と住民税の2つに分けてご説明しましょう。

(1) 所得税の軽減額は、年間寄附額(3万5千円)から5千円を差し引いた3万円に各納税者の税率、ご質問の方は10%ですので、これを掛けます。すると3万円×10%=3千円が所得税から控除されます。

(2) 次に個人住民税の軽減額を計算しましょう。これも同じく年間寄附額(3万5千円)から5千円を差し引いた3万円に、(100%-所得税率)を掛けます。つまり3万円×(100%-10%)=2万7千円になります。これが住民税から控除額されます。

(3) 合計すると(1)+(2)=3千円+2万7千円=3万円です。

【社 長】 これはすごい、3万5千円の「ふるさと納税」をすれば、3万円も税が控除されるのですか。

【税理士】 そうなのですが・・・。

【社 長】 何かおかしいと言いましたか。

【税理士】 たとえば、大阪に住んでいらっしゃる社長の息子さんが鹿児島市にふるさと納税をすれば、大阪に納めていた住民税が、鹿児島市や鹿児島県に移ると考えていただければいいと思います。つまり5千円は事務手数料で移行できませんが、それ以外は「ふるさと」へ移行できて、損得はないということです。ふるさと減税ではなくて、ふるさと納税ですから。

【社 長】 なるほど。ところで納めている住民税以上の寄附をした場合にはどうなるのでしょうか。これは得になるのですか？

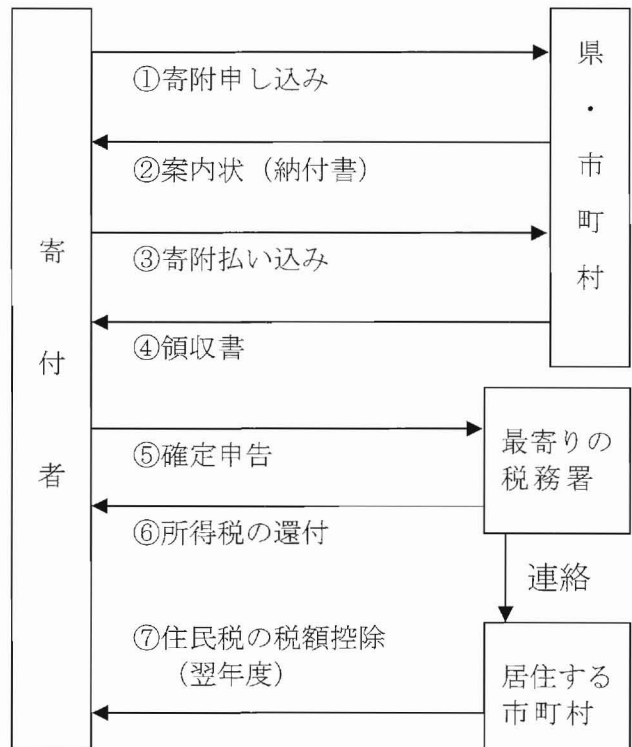
【税理士】 この場合には全額が対象とはなりません。一定の寄附金控除が受けられます。

【社 長】 「ふるさと」ではないのですが、夕張市に寄附することも可能ですか。

【税理士】 もちろんです。こころのふるさとでも、慣れの場所でもどこでもかまいません。これから各市町村や県によって様々なPR活動が活発になるでしょう。

【社 長】 損得も大事ですが、ふるさと納税を通じて支え合うことや、税金の適正な使い道について考えるいいきっかけになりそうですね。

### ふるさと納税の仕組み



# 鹿児島県管理団地の紹介

鹿児島県商工労働部産業立地課  
 TEL : 099-286-2985  
 FAX : 099-286-5578

県管理団地は、県ホームページでも紹介しています。  
<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodou/kigyo/index.html>

## 鹿児島臨空団地

### 空と陸とのクロスロード

鹿児島空港や九州縦貫自動車道に近接。  
 九州主要都市や、東京、大阪などの大都市圏、  
 アジアも視野に入れた産業拠点です。  
 周辺に工業技術センターなど、  
 高度技術関連企業や  
 研究所などの立地が進んでいます。

- 工業用地面積 / 23.5ha
- 分譲可能面積 / 15.9ha
- 分譲価格 / 36,916円/m<sup>2</sup>

#### 交通アクセス

- 国道504号に隣接
- 九州縦貫自動車道  
溝辺鹿児島空港ICに隣接
- 鹿児島空港まで隣接
- 志布志港まで60分



## 鹿児島臨空団地の優遇制度

### 県補助金で最大

(鹿児島臨空団地企業立地促進補助金)

# 5割補助

### 設備補助の充実

- 建物・機械設備
- 工業用用水等特別処理施設 etc.

### 市補助金とも併用可能

(霧島市の土地取得補助制度)

(例) 製造業・分譲規模6,000m<sup>2</sup>・新規雇用5~19人の場合

区分	有効敷地	法面
分譲価格	36,916円/m <sup>2</sup>	12,306円/m <sup>2</sup>
県補助後	18,458円/m <sup>2</sup>	5割補助
市補助後	15,125円/m <sup>2</sup>	2,000万補助
		<b>0円</b> 全額補助

## 鹿児島臨海工業地帯1号用地

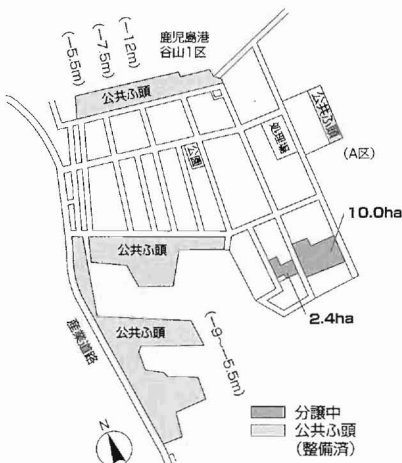
### 都市機能が充実した南の産業拠点

鹿児島臨海工業地帯1号用地は、  
 鹿児島市の中心部から南へ約15kmの位置にあります。  
 隣接する港湾施設はCIQを完備し、3万トンバースが整備されるなど、  
 南の海の玄関にふさわしい機能を保有しています。

- 工業用地面積 / 430ha
- 分譲可能面積 / 12.4ha
- 分譲価格 / 36,800円/m<sup>2</sup>

#### 交通アクセス

- 産業道路まで3分
- 国道3号・10号線まで30分
- 九州縦貫自動車道鹿児島ICまで30分
- 鹿児島港に隣接
- 鹿児島空港まで60分



鹿児島県  
独自の  
優遇制度

企業立地促進補助金

最高10億円の補助金

企業立地資金融資

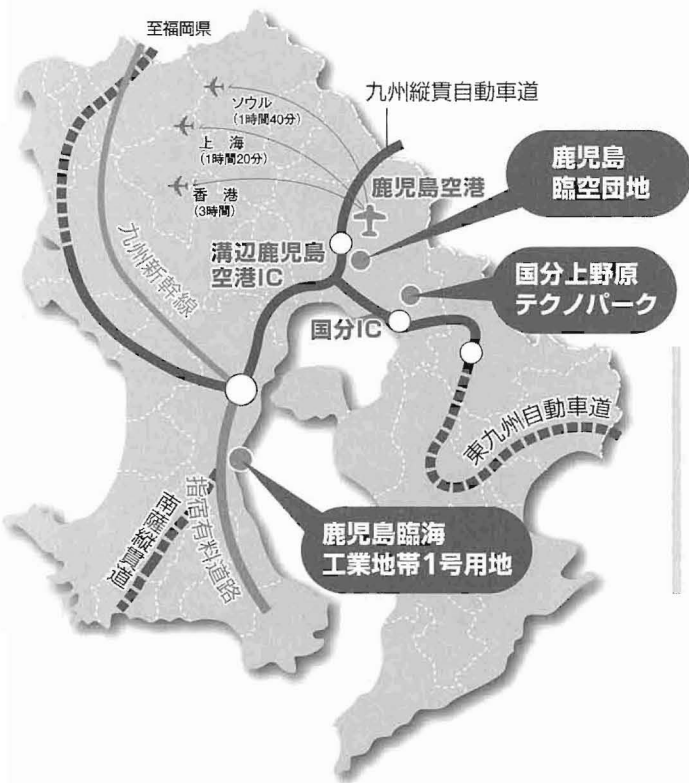
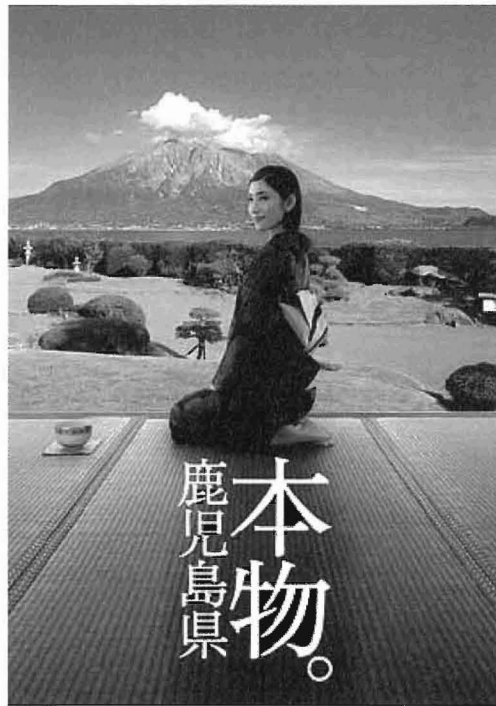
最高5億円の低利融資

税の減免等

事業税や不動産取得税の減税免除



本物の持つ力は、人を元気にします。  
 例えば、自然の雄大さに息をのむこと、  
 伝統的文化の美しさにひたること、  
 食や温泉の豊かさにつつまれること、  
 多彩な魅力を持つ鹿児島県には  
 ここにしかない本物があふれています。  
 「本物。鹿児島県」を舞台に  
 新たな挑戦を始めてみませんか。



## 国分上野原テクノパーク

自然に恵まれた技術開発・生産の拠点

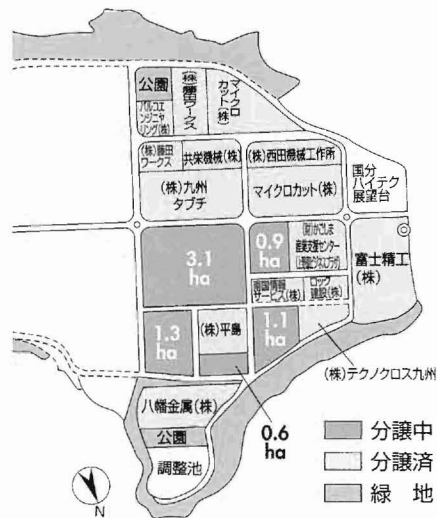
鹿児島県のほぼ中央部に位置し、北部は国立公園である  
 風光明媚な霧島連山を有し、  
 南部は豊かで広大な平野部や雄大な桜島  
 を望む、自然に恵まれた工業団地です。



- 工業用地面積／25.5ha
- 分譲可能面積／7.0ha
- 分譲価格／10,800円/m<sup>2</sup>

### 交通アクセス

- 国道10号線まで4分
- 九州縦貫自動車道  
 満辺鹿児島空港ICまで27分
- 東九州自動車道国分ICまで10分
- 鹿児島空港まで30分



# IT活用戦略

株式会社フォーエバー

代表取締役 久永 忠範

〒892-0821 鹿児島市名山町9-15

ソフトプラザかごしま504

TEL : 099-239-5269

URL : <http://www.forever.co.jp>

E-mail : [forever@forever.co.jp](mailto:forever@forever.co.jp)

## IT戦略策定・ IT活用モデル

こんにちは、フォーエバーの久永です。

今回は、経営戦略策定についてお話ししました。今回は、その経営戦略、IT領域での戦略課題をもとに、経営戦略の実行の一環として、業務プロセス改革を有効にかつ効率的に達成するためのIT戦略の策定とその活用モデルについてご説明させていただきます。

### \* 経営戦略からIT戦略へ

IT戦略とは、経営戦略を実現するために、ITを活用してどのような業務改革、経営革新を行うかを盛り込んだ戦略です。つまり、経営者の想いや目標をITというツールを使い、いかに業務の効率化と経営資源の蓄積を図るかということです。

よく中小企業では、経営者の仕事は経営の部分だけで、技術的なことはシステム担当者に任せっきりということがあります。しかし、IT戦略の策定においては、経営者も参画して、経営戦略との整合性がとれているかどうかをしっかりと評価していかなければなりません。前回も申し上げましたが、ここで経営者においては、ITに関する正しい理解と知識、そして判断能力が必要になってくる訳です。

では、IT戦略策定において重要なことは何でしょうか？

例えば、文書や報告書の作成が増えてきたので、パソコンとプリンタを購入して、業務の効率化を図ろうとします。「でもパソコン、プリンタにかかる費用が、もったいない！」できるだけ安いコストで抑えるために、「パートやアルバイトを活用しよう！」となってしまいます。

ここで大切なことは、パソコン・プリンタは消費されるものではなく、設備投資であり、継続的に活用され、利益を生み出すものだという考えをもたなければならぬということです。もちろん、設備投資に対しての費用対効果もしっかりと判断していかなければなりません。IT活用だけが、効率化につながるとも限りません。

大事なことは、ITは、経営戦略を実行するための効率的なツールということを押さえておくことが重要です。

また、経営資源の蓄積という面においても、会社の業務上の情報や社員一人ひとりのもっている情報、ノウハウをいかに体系的に集約化して情報共有をしていくかです。

特に経営者にとって、この情報を基にした経営分析の活用などIT化のメリットと言えるでしょう。

### \* IT戦略策定の重要なポイント

IT戦略策定を行うためには、経営戦略との整合性がとれ、継続的なIT活用を実行できるものでなければなりません。また、戦略の目的やビジネス上の効果、情報化の範囲、スケジュール、リスクなどを明確にすることが大事です。

そのためには、次のようなことを踏まえて、IT戦略の策定を行います。

- ・ 経営方針・目標に即した、経営上のニーズや優先課題を明確にする。
- ・ 自社に必要なIT環境を調査し、現在のIT市場の動向やトレンドで、自社に必要なITツールを明確にする。
- ・ そのITツールが、経営戦略を実現するための重要成功要因(CSF)となりうるかを検証する。
- ・ 経営上の情報化における費用対効果、情報化しなかった場合の損失などについて定性的、定量的な評価を行う。
- ・ 情報化の範囲、期間、体制、リスク、責任者などを明確にする。
- ・ 自社における標準化可能な情報化ビジネスモデルを構築し、業務プロセスの見直し、変更、改革を行う。
- ・ IT戦略の定期的な見直しを行い、経営戦略に即しているかを評価する。

IT投資は、高いというイメージがありますが、経営戦略に即して、きちんと効果を見ながら投資を実行していくこととその効果の評価と検証をしっかりと行い改善、成長へと結び付けていくことで、その投資効果の価値が認識できると思います。

## \*IT活用モデル

IT化、情報化の推進を行う中小企業において、どのような取組みがなされたかを製造・卸売業の企業をモデルにご紹介いたします。



### 1 企業概要

業 種: 製造業、卸売業  
資 本 金: 10百万円  
従業員数: 60人(パート含む)  
売 上: 400百万円

### 2 IT導入の目的

- ・新社屋建設に伴い、IT活用による効率的な経営の実現化を図る。
- ・限られた地域内での取引を行ってきたが、市場の低迷化、閉塞化をおぎなうために、WEB等での自社商品のこだわり、特徴などの全国発信をすることにより新市場の開拓を行う。
- ・製造における商品の効率的な生産体制の確立を行う。

### 3 IT導入時に生じた問題点と対応策

問 題 点	対 応 策
帳票など紙ベースのものが多く、新業務システムとの連携が難しい	既存の帳票データのデジタル化を行い、新業務システムへの移行期間を設けて、担当社員のIT教育も並行して行った
自社WEBサイトがあったが、ほとんどアクセスがなく、自社の紹介ばかりで活用されていない状況であった	WEBサイトのリニューアルを行うと共に自社商品のこだわり、特徴を紹介し、WEBからのサンプル請求やアクセスログ解析を行うことができるようにした
製造は、今までの需要により生産体制をとってきており、納期などにぶれがあった	オンライン受発注システムを導入して、リードタイムの短縮を行った

### 4 システム概要

- ・社内ネットワークの構築
- ・サーバー利用による管理システムの一元化
- ・グループウェアの導入
- ・オンライン受発注システムの構築
- ・WEBサイト構築

### 5 システム導入した際の組織体制

- ・ITコーディネータの説明のもとに、経営戦略・情報化戦略の策定を経営者、部門責任者を中心にプロジェクトチームを組織し、IT推進会議を定期的に行った。

### 6 IT活用の成果

- ・グループウェアの導入により情報の共有化が図られ、効率的な業務運営が行われるようになった。
- ・単位時間当たりの生産量も増え、売上も増加した。
- ・WEBサイトからの問い合わせも増え、新規市場開拓へとつながった。

### 7 情報化の成功要因

- ・経営ビジョン、目標を明確化して、経営戦略のうちIT領域で必要な情報化を効率的に行ったことである。

今回は、IT戦略策定の組み立てとIT活用モデルのお話をいたしました。次回は、IT活用の具体的なツールをご紹介します。

### ☆筆者紹介☆

久永 忠 範 (Tadanori HISANAGA)

株式会社フォーエバー 代表取締役

・ITコーディネータ・キャリアコンサルタント・個人情報保護士

90年 個別指導学習塾 永久(とわ)塾開業

96年 有限会社フォーエバーラーニングシステム設立 システム開発を開始

97年 情報サービス部門を設けてパソコン教室を開始

00年 WEBコンテンツ事業を開始

06年 株式会社フォーエバーへ組織変更 ITコンサルティングを開始



鹿児島TLOでは鹿児島大学・鹿児島高専・鹿屋体育大学の研究者のシーズを企業の皆さまに活用していただくために、研究者に代わって権利化したり、大学の機関帰属となったシーズを権利移転する活動を行ったりしております。今回は、鹿児島TLOが移転活動を行っている下記発明を御紹介いたします。

【発明の名称】 水準機能付定規

【発明者】 鹿児島大学教育学部教員

【公開番号】 特開2008-44164

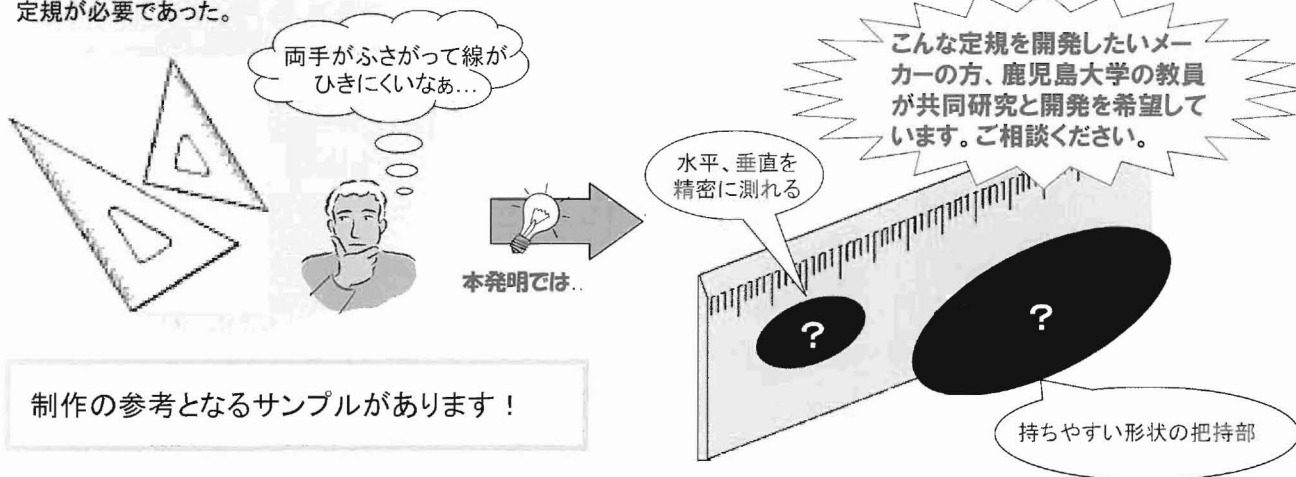
【公開日】 平成18年8月11日

【発明の概要】 学校などの教育現場では黒板やホワイトボードに直線、特に垂直線や水平線を正確に引く必要のある場面が多くあります。しかし、現状は先生が目見当をつけて、なるべく正確な直線を引くよう技術と手間をかけていらっしゃるのが実情です。

本発明は、現場での使用を考えた比較的簡単な構成でありながら、水平線や、垂直線を簡単かつ正確に引くことが可能になります。これにより先生方の負担の軽減、より生徒にわかりやすい授業の実現が見込まれます。

### 【図による解説】

これまでは正確な水平線、垂直な線を引くには2本の定規が必要であった。



【対象者】 各種製造業の方、小中学校、高校などとお付き合いのある方にお勧めです！！

ご興味のある方は下記までお問合せください。

株式会社鹿児島TLO 【<http://www.ktlo.co.jp/>】

〒890-0065鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学内

TEL 099-284-1631 FAX 099-284-1632 E-Mail [info@ktlo.co.jp](mailto:info@ktlo.co.jp)

担当 吹留（技術移転マネージャー）、平川（特許流通アドバイザー）

町田（技術移転スペシャリスト）、梶島（技術移転スペシャリスト）

赤崎（技術移転スペシャリスト）、米満（NEDOフェロー）

# 受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今月は、下記の企業から受注の申し込みがきておりますので、あっせんのご希望がありましたらご連絡ください。

また、センターのホームページでもご覧頂けます。（URL：<http://www.kric.or.jp>）

なお、あっせんにあたっては、

- ①まず、企業の登録手続きをお願いします。（希望に応じた紹介あっせんが円滑にできます。）
- ②あっせんはすべて無料です。

## ◆受注情報

No.	所在地	資本金 (万円)	従業員数 (人)	受注希望品目 (加工内容)	主要機械設備
1	霧島市	300	6	電子部品等の組立 各種検査業務	電動ドライバー 半田設備一式

## ◆お問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課

TEL : 099-219-1274 FAX : 099-219-1279

E-mail : [business@po.kric.or.jp](mailto:business@po.kric.or.jp)

## ～モノづくりフェア2008 出展者募集！～

日刊工業新聞社では、「モノづくりフェア2008」の出展者を募集しております。自社の優れた技術・製品の紹介とアイデアの提案、また一層の発展にお役立ていただく場として、是非、本展示会をご活用いただきますようご案内申し上げます。

### 【開催概要】

- 名称 : モノづくりフェア2008 テーマ「新たな発想と発見で未来の九州を構築」
- 日時 : 2008年10月23日(木)～25日(土) 10:00～17:00(最終日は16:00まで)
- 場所 : マリンメッセ福岡 〒812-0021 福岡市博多区沖浜町7-1
- 募集締切 : 2008年7月18日(金) ※第2次募集締切日

### 【内 容】

1. モノづくりコーナー
2. 九州自動車生産推進コーナー
  - ①サプライヤー展示コーナー
  - ②九州進出企業コーナー
  - ③地場企業受注拡大コーナー
  - ④自動車部品製造関連機器・システムコーナー
3. ロボット技術コーナー
4. エネルギー・環境コーナー
5. 中小企業支援機関コーナー
6. ベンチャー&パートナーマッチングコーナー

### 【基本小間及び出展料】

- ・左記1、2-①・②・④、3、4  
間口2.97m×奥行2.97m×壁高2.7m  
262,500円/小間
- ・左記2-③、5、6  
間口2.1m×奥行1.8m×壁高2.7m  
157,500円/小間

※左記2-③は、九州に所在地のある中小企業が対象になります。

## ◆お問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課

TEL : 099-219-1274 FAX : 099-219-1279

E-Mail : [business@po.kric.or.jp](mailto:business@po.kric.or.jp)

# Information

## 1 中小企業テクノフェア IN 九州 2008 のご案内

「中小企業テクノフェア IN 九州 2008」は、中小企業の優秀な技術・製品、加工品等を一堂に展示実演し、製品開発力、加工技術力を紹介するものです。発注企業、商社並びに中小企業との相互の交流を図り、広域的な受注機会の拡大と新規取引先の開拓を進め、中小企業の経営革新、自立化、新連携の構築を実現することを目的としており、今回は環境関連の総合見本市である「エコ・テクノ2008」と同時開催いたします。

ぜひ、この機会に自社の製品や技術開発力のPRの場として、ご出展下さいますようお願いいたします。

### ◆開催概要

- 名称 中小企業テクノフェア IN 九州 2008
- 会期 平成20年10月22日(水)～24日(金) 3日間
- 会場 西日本総合展示場 新館 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-8-1
- 開催時間 10:00 ～ 17:00 (最終日は16:00まで)
- 小間数 60小間
- 主催 (財)西日本産業貿易コンベンション協会
- 協力 九州各県支援センター(予定)
- 同時開催 エコ・テクノ2008  
福岡水素エネルギー社会近未来展2008

### ◆内容

#### 1. 展示実演

(1) 企業の技術展示 … 企業の出展による部品、製品などの展示説明

- (A) 機械・金属加工・メカトロ関連
- (B) 医療・福祉関連
- (C) 環境関連
- (D) 情報通信・電子機器・ソフト関連
- (E) 自動車・ロボット・バイオ関連
- (F) ベンチャー企業・グループ関連等
- (G) その他

(2) 九州地域の中小企業支援機関の情報ブース

- ・中小企業への支援制度等の相談、説明
- ・支援機関活動のPR等の実施

(3) 広域商談会(予定)

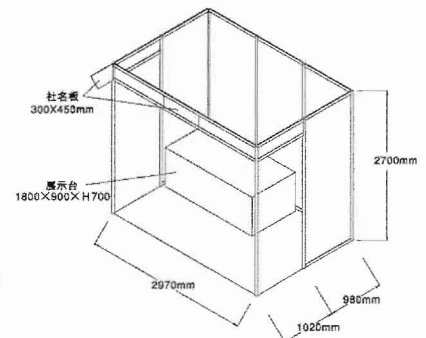
(4) 各県出展企業交流会



テクノフェア風景

### ◆募集要項

- 基本小間 間口3m×奥行3m(サイドパネル2m)×高さ2.7m  
(システムパネル仕様)
- 出展料 中小企業支援機関 登録企業 150,000円/小間  
非登録企業 180,000円/小間
- 申込締切 平成20年7月中旬  
(但し、満小間になり次第、締め切らせていただきます。)
- 出展者説明会 平成20年9月初旬予定  
会場、日程等は後日連絡いたします。



小間イメージ

### ◆お問い合わせ先

(財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課

TEL : 099-219-1274 FAX : 099-219-1279 E-mail : business@po.kric.or.jp

# Information

## 2 「かごしま起業家応援プログラム」のチャレンジャー募集のご案内

当センターでは、創造性・新規性のある技術やアイデアを基に、事業化を目指すチャレンジャーを全国から募集し、採択された方に、事業展開に必要な助成金を交付し、支援を行うことにしています。

■事業拠点■ 鹿児島県内を拠点として事業活動を行うこと。

- 対象者■
- ①創業を目指す個人
  - ②5人以内の任意のグループ
  - ③新たな事業分野での会社設立を目指す中小企業者
  - ④会社設立後3年以内で利益計上のない中小企業者
  - ⑤創業後3年以内で利益を出していない個人事業者

■助成金■ 1件当たり500万円以内

- 対象経費■
- ①商品・サービス開発推進費（情報収集、調査研究開発費等）
  - ②販路開拓・販売管理費（宣伝広告費等）
  - ③一般管理費（人件費、事務費等）

■業種■ 原則として業種は問わない。  
例えば、右に記載のとおり

■応募期限■ 平成20年7月4日（金）

応募書類についてはホームページ（<http://www.kric.or.jp>）をご覧ください。

■問合せ・応募先■

（財）かごしま産業支援センター 新産業育成課

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号（県産業会館2F）

TEL：099-219-1272

FAX：099-219-1279

E-mail：ikusei@po.kric.or.jp

例えば

- ①鹿児島島の多様な資源や素材を活用した新しい商品開発
- ②医療・福祉・環境に関連した新製品・サービス等
- ③ITを活用した新しい技術・サービス等

## 3 平成20年度助成金事業の募集について

財団法人九州・山口地域企業育成基金（略称キューテック）では、九州・山口地域における技術指向型中小企業の支援を通じ、地域経済の振興に寄与することを目的とし、これらの中小企業が行う新技術、新製品等の研究開発及び人材育成（研究員の出向研究）に関する下記助成金の募集を行っております。

### 【研究開発に対する助成金の交付】

#### ①対象企業

- ・原則として創業後10年以内又は新事業進出後10年以内の中小企業。（個人事業者を含む）
- ・新技術・新製品等の研究開発及び企業化を実施しようとする具体的計画を持っているもの。

#### ②対象資金

研究開発のため必要な資金（調査研究費・設計費・試験費・試作費及び設備費など）

#### ③助成金額

次のいずれか少ない方の金額

- ア 一企業について500万円以内
- イ 研究開発費用の2分の1以下

#### ④審査

お申込の案件については、審査委員会の審議を経て採否を決定します。

※医薬品、ソフトウェアのみ、デザイン等は対象になりません。

### 【人材育成に対する助成金の交付】

#### ①対象企業

- ・原則として創業後10年以内又は新事業進出後10年以内の中小企業。（個人事業者を含む）
- ・新技術・新製品等の研究開発及び企業化を実施しようとする具体的計画を持っているもの。

#### ②対象資金

大学・研究機関等への企業の研究員出向に必要な資金（授業料・研究料・その他出向研究に必要な費用）

#### ③助成金額

次のいずれか少ない方の金額

- ア 一企業について100万円以内
- イ 出向費用の2分の1以下

#### ④審査

お申込の案件については、審査委員会の審議を経て採否を決定します。

※医薬品、ソフトウェアのみ、デザイン等は対象になりません。

【応募締切】平成20年8月31日（日） ※持参不可。財団宛書留にて送付ください。

### 【問合せ・申込先】

財団法人九州・山口地域企業育成基金（担当：宮野）〒810-0062 福岡市中央区荒戸2丁目1番9号FKビル3階

TEL：092-761-0448 FAX：092-713-6637

※詳細はホームページをご覧ください。 ⇒ <http://www.kyutec.or.jp>

## 上野原ビジネスプラザ・インキュベーターのご案内

当センターの上野原ビジネスプラザでは、起業家や新たな事業分野への展開を目指す中小企業の方々に、24時間無料でインターネット接続サービスが利用できる快適で低廉な料金のインキュベータールームを用意し、皆様の入居をお待ちしています。

- ・インキュベータールーム 22室（平成20年6月1日現在7室が空室）  
面積：31.5㎡～111.15㎡  
月額使用料：49,612円～131,853円（敷金不要）  
なお、創業5年未満の企業については、使用料の減免があります。
- 所在地：霧島市国分上野原テクノパーク4-30



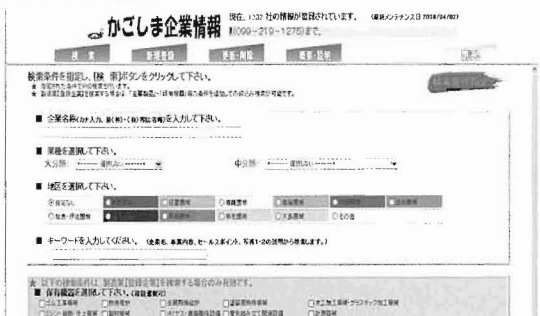
■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 上野原ビジネスプラザ  
〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30  
TEL：0995-45-3511 FAX：0995-48-5270 E-mail：gyoumu@po.kric.or.jp

## 「かごしま企業情報」への掲載のご案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かごしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業が掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽にご登録をください。



■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 情報支援課  
〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 鹿児島県産業会館2階  
TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：info@po.kric.or.jp

## センターホームページ「KISCネット21」のご案内

センターのホームページをご覧になったことがありますか？  
こんなメニューがあります。

- ・センター・関連機関からのお知らせ
- ・ニーズ別に制度や業務相談窓口の紹介
- ・センターの調査物・刊行物の紹介
- ・ビジネスに役立つお勧めサイト など

ぜひ、ご覧ください！！ URL：<http://www.kric.or.jp/>



## ■「情報KISC」の表紙デザインについて■

表紙のデザインは、「かごしまデザインフェア2008」の「KISCデザイン部門」に応募された総数147点の中から入選されました  
蛭川 祐貴 さんの作品です。

～作品のテーマは「三色美」～

（蛭川さんのはなし）

この作品は、鹿児島を四角のサイコロ状に見立てて作ったものです。  
桜島の燃える情熱の赤色、錦江湾の雄大な海の青色、自然豊かな森の緑色。それらを一面一面に表してみました。

鹿児島を支える力はこうした物から生まれてくると思い、この作品を作りました。

自分もこの作品を通して、鹿児島を支えられる一人として頑張っていきたいと思えます。

## 情報KISC 6月号

発行者：財団法人かごしま産業支援センター  
〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270（代表）  
FAX 099-219-1279  
E-mail [kisc@po.kric.or.jp](mailto:kisc@po.kric.or.jp)  
URL <http://www.kric.or.jp>